

9・10月の催し物ご案内

タイトル	内容	日時	場所	対象(定員)	料金	備考
プラネタリウム 夜間特別投影 「月の科学」	月は美しく、私たちにとって身近な天体ですが、その起源はまだまだ解明されていません。月が地球に与える影響など、月の科学的な側面をご紹介します。	9月26日(土) 19:00～20:00	科学館 プラネタリウム	15歳以上 (中学生を除く) 定員:200名	500円	9月14日(月) 科学館必着
プラネタリウム夜間特別投影申し込み 申し込み方法：往復はがき・FAX・E-mail:astropla@ssc.slp.or.jpのうちのいずれか。①イベント名、②代表者の住所・氏名・電話番号、③返信先、④参加者数、⑤参加者全員の氏名・年齢をご記入の上、科学館までお送りください。						
札幌市天文台 夜間公開	観望対象 ①夏から秋の星座の星 ②月・夏から秋の星座の星	①9月11日(金)～ 13日(日) ②9月25日(金)～ 27日(日) 19:00～21:00	札幌市天文台 札幌市中央区 中島公園1-7 (コンサートホール Kitaraむかい)	-	無料	TEL: 011(511)9624
	観望対象 ③夏から秋の星座の星 ④月・夏から秋の星座の星	③10月9日(金)～ 11日(日) ④10月23日(金)～ 25日(日) 19:00～21:00				
科学館観望会	観望対象 ①月・夏から秋の星座の星 ②夏から秋の星座の星	①9月26日(土) 20:00～21:30 ②10月31日(土) 19:00～20:30	科学館駐車場	-	無料	-
字幕つき プラネタリウム	普段のプラネタリウム解説に字幕がつきます。耳の不自由な方はもちろん、星の名前を覚えたいという方にもおすすめです。	10月9日(金) 13:50～14:50 10月10日(土) 14:00～15:00	科学館 プラネタリウム	-	500円	当日9:30から 観覧券を 販売(先着)
宇宙の日 作文・絵画 コンテスト	9月12日の「宇宙の日」にちなんで、作文と絵画を募集します。テーマ:小学生部門「宇宙に飛び出そう」、中学生部門「宇宙のなぞにせまろう」 テーマに沿った内容で作文・絵画を作成してください。	応募方法 作文は400字詰原稿用紙2～5枚(自筆のみ)。絵画はA2サイズ(420mm×594mm)以下の用紙を使用(画材は自由ですがCGは不可)。 作品の裏に①住所(ふりがな)、②氏名(ふりがな)、③電話番号④学校名(ふりがな)、学年、年齢、応募科学館名(札幌市青少年科学館)、⑤作品にこめた想い(100字以内。※絵画のみ)をご記入の上、科学館へ送付、もしくはご持参ください。 応募作品は未発表オリジナル作品に限ります。 対象：小・中学生 料金：無料 9月30日(水)科学館必着締め切り				

プラネタリウムさよなら祭り

2016年春、プラネタリウムの機械が新しくなります！現在のプラネタリウムは、2015年11月1日で投影が終了となりますが、その歴史を振り返るイベントを行います。

過去に好評だった番組をご覧ください。ほか、「記念撮影タイム」やお子さま向けの「操作体験」も。また、みなさんのプラネタリウムに関する思い出を募集し、ドームに映し出す「思い出の星空コーナー」も企画。最終投影日には「さよならセレモニー」を行います。今のプラネタリウムで星が見られる最後のチャンス！ぜひお越しください。

詳しい内容や募集方法は、決まり次第当館ホームページでお知らせします。

実施日時：10月31日(土)・11月1日(日)
9:30～16:30

※プラネタリウムは、機械入れ替えのため2015年11月2日～2016年春(予定)まで休演となります。



プラネタリウム利用案内

●プラネタリウム入場時刻(9・10月)

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
9月	平日	9:10 (団体専用)	10:20 おばけのマール*	11:30 (団体専用)	12:50 おばけのマール	14:10 サイエンジャーと月旅行	15:30 ほうき星に大接近?!
	土・日・祝	9:40 宇宙へのアンテナ	10:50 おばけのマール	12:00 サイエンジャーと星の一生	13:10 星空動物園	14:20 サイエンジャーと月旅行	15:30 ほうき星に大接近?!
10月	平日	9:50 宇宙に抱かれて	11:00 おばけのマール	12:20 流星群を見に行こう	13:50 宇宙～その始まりを求めて～	15:20 オーロラに会いたい!	-
	土・日・祝	10:00 宇宙に抱かれて	11:20 おばけのマール	12:40 流星群を見に行こう	14:00 宇宙～その始まりを求めて～	15:20 オーロラに会いたい!	-

※10/3は開館記念感謝デー、10/31・11/1はプラネタリウムさよなら祭りのため、特別なプログラムになります。
※発券終了は5分後、開演は10分後です。途中入場はできません。※投影中止または内容が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。
*平日の2回目は、団体優先のため番組内容が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。
※プラネタリウム機器更新のため、11月2日～2016年春まで、プラネタリウムはお休みいたします。

プラネタリウム番組

幼児向け
『おばけのマールと
ゆめのとびら』
『おばけのマール』が
プラネタリウムに
やってきた。カワイ
イ冒険のはじまり!

『サイエンジャーと
星の一生』
サイエンジャーが「星の一生
の旅」へ、みなさんをご案内!

『サイエンジャーと
子ども向け
月旅行』
形がちがう、大きさがちがう…月の
不思議をサイエンジャーが解決!

『宇宙へのアンテナ』 一般向け
巨大なパラボラアンテナと、見習
い天文学者。道内初の電波望遠
鏡にかけられる人々の物語。

子ども向け
『オーロラに会いたい!』
北海道でオーロラは
見えるのかな?

『ようこそ!『星空動物園』へ』 子ども向け
迷子になったごきま座のボラリと一緒に、サキは「星空動
物園」へ行くことに。ボラリはお母さんに会えるのかな?

『宇宙に抱かれて
一般向け
～ミクロからマクロへ～』
星々のきらめく光の海からすべ
てが始まった。私たちの故郷を
求めて壮大な宇宙の旅へ。

『宇宙～その始まりを求めて～』 一般向け
宇宙の秘密に、どこまで迫ることができる
のか。科学者たちの歩みをたどります。

プラネタリウム 内容	「当日の星空解説」、毎月その時季にあったトピックスを取り上げる「ミニテーマ」、ドーム全体に映し出される映像「プラネタリウム番組」の計50分間です(「おばけのマール」の回は計30分間)。上映するプラネタリウム番組の回は、曜日によって変わります。(定員:200名)※「ミニテーマ」は、「おばけのマール」の回は行いません。
9月ミニ テーマ	『お月見』 秋はお月見の季節。9月27日は中秋の名月。また翌28日は月が普段よりも大きく見える、スーパームーンが楽しめます。
10月ミニ テーマ	『さよならプラネタリウム』 リニューアルのため、11月1日をもって見納めとなる現在のプラネタリウム。長い間活躍してくれた機械についてご紹介します。

休 館 日 9/7・14・24・25・28・29、10/5・13・19・26・27

観覧時間 5月～9月：午前9時から午後5時まで、
10月～4月：午前9時30分から午後4時30分まで
(入館は閉館の30分前まで)

観覧料	大人	中学生以下	※()は、敬老手帳、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示の方。 ※プラネタリウム用補聴装置を無料で貸しします。案内にお申しつけください。
展示室	700円(500円)	無料	
プラネタリウム	500円(360円)	無料	

— 科学の今と未来をつなぐ —

札幌市青少年科学館
Sapporo Science Center
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団)

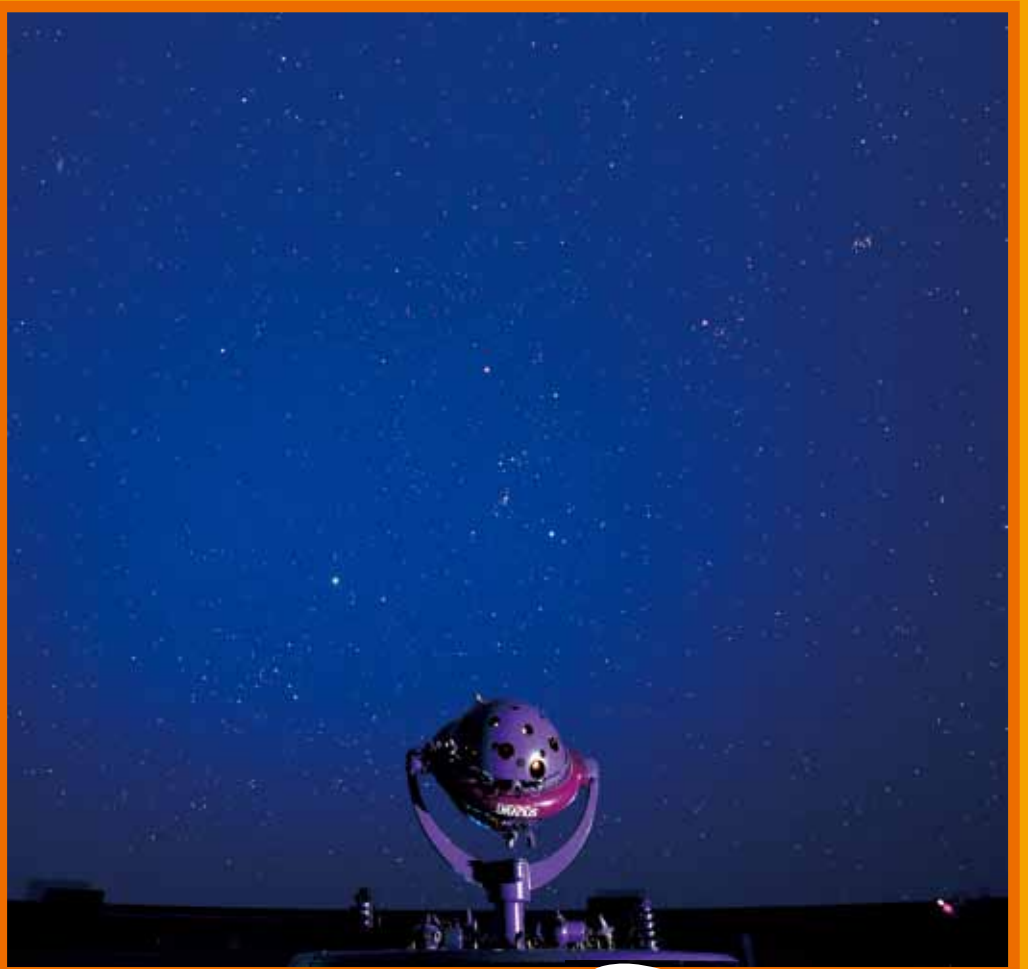
〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目 TEL:011(892)5004 FAX:011(894)5445 ホームページ: http://www.ssc.slp.or.jp/

交通案内

札幌市青少年科学館天文リーフレット

星空散歩

2015年
9・10月号
vol.61



今回の表紙写真は
プラネタリウム

撮 影：札幌市青少年科学館 天文係 荒明 慎久
データ：Nikon D600、AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED、
f8 20秒露出 ISO2000

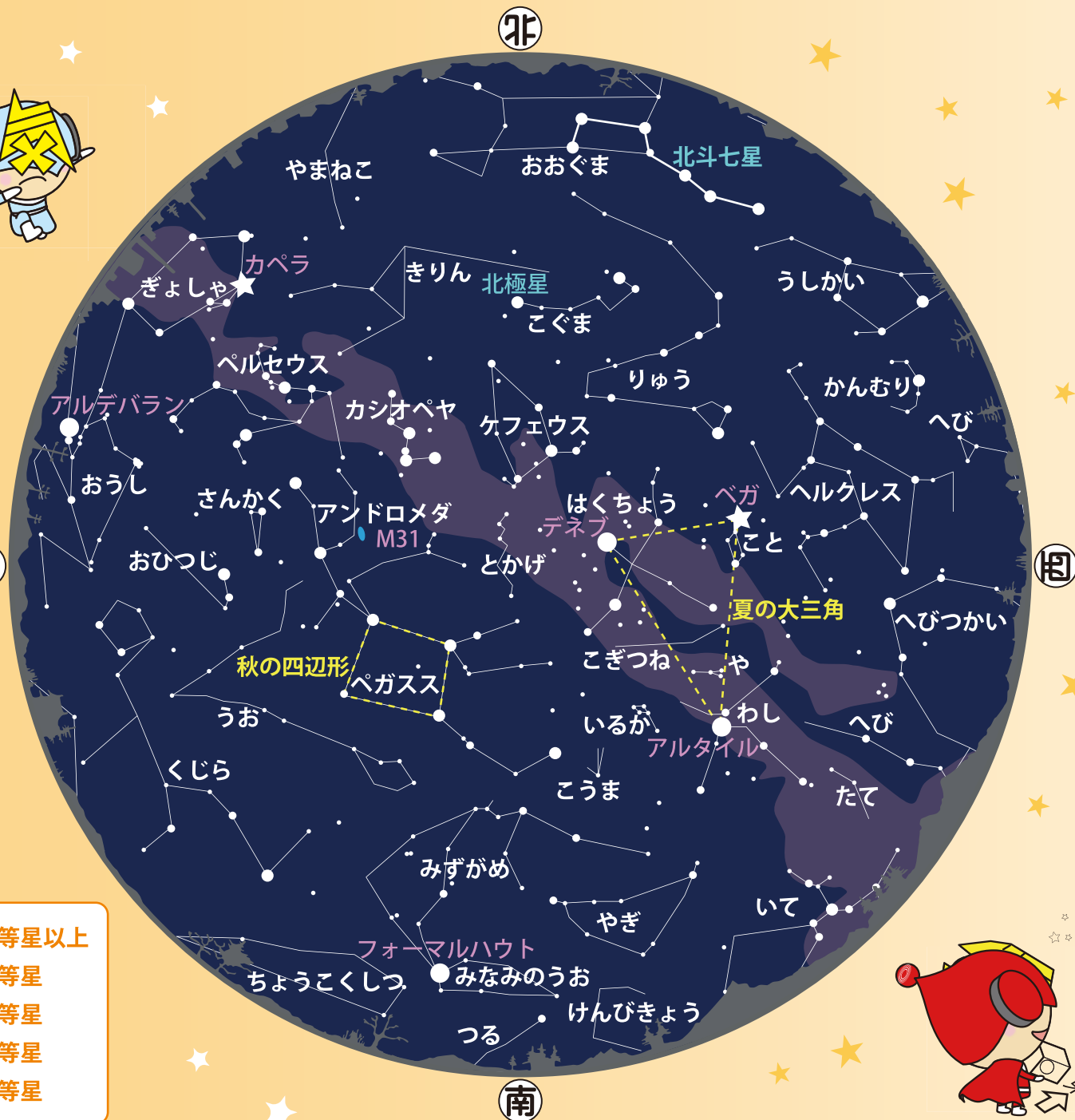




北

南

- ★ 0等星以上
- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星



夏の暑さも一段落し、過ごしやすいこの季節は、星を見て楽しむのにちょうどよいでしょう。この時季の空では、夏を代表する「夏の三大角（ベガ・デネブ・アルタイル）」が西の空高い場所で明るく輝いています。

一方、秋の星たちは夏の星々よりも暗いものが多く、物静かなイメージを感じさせます。秋の夜空の目印は、四角形の星並びの、「秋の四辺形」。星座の名前をとって「ペガサスの四辺形」と呼ぶこともあります。南東の空高い場所を見上げると、横長の長方形をつなぐことができます。

秋の四辺形の東側には古代エチオピア姫の姿「アンドロメダ座」があり、その星座の中には、おとなりの銀河「アンドロメダ銀河（M31）」があります。おとなりとはいえ、光の速さで230万年もかかってしまうほどの遠い距離。街明かりの少ない場所であれば、肉眼でもぼんやりした姿を確認することができます。

星の見つけ方

- 1 見たい方角を向く。
- 2 左図を見たい方角が下になるように持って、頭の上にかざす。
- 3 星を見つける。

星図のように見える時刻

9/1 午後11時ごろ

10/1 午後9時ごろ

月と惑星のあんない



この時季、夜明け前の空は惑星たちでにぎわっています。東の空では、明るく輝く金星をはじめ、火星や木星を見つけることができます。月が下弦の頃になると、惑星のそばを通り、さらに華やかな空を楽しむことができるでしょう。いつもより少し早起きをして、月と惑星の豪華な共演を眺めてみませんか。

月のかたち

- 満月 9/28、10/27
- 新月 9/13、10/13
- ◐ 下弦 9/5、10/5
- ◑ 上弦 9/21、10/21



旬の話題

天王星が衝に



★ 太陽系7番目の惑星である天王星は、1781年に発見されました。土星のさらに外側をまわっており、地球と太陽との平均距離（1.5億km）のおよそ19倍も離れています。現在うお座にある天王星は、10月12日に地球をはさんで太陽の正反対の位置となります（この位置関係を衝（しょう）といいます）。衝の前後は地球に最も近づき明るくなりますが、それでも5.7等と、暗い星空のもとでも肉眼でやっと見える明るさです。事前に正確な場所を確認したうえで、双眼鏡か望遠鏡を使って観測してみましょう。

天王星の位置



<拡大図>